

症状

●初期の段階は、
歯肉が赤くなり、腫れた状態です。
重度になれば、触っただけで
出血するようになります。

●そのまま放置すると、
歯と歯肉の間に溝ができ、
歯がぐらつきます。
この溝から細菌感染も
起こります。

治療

全身麻酔下での歯石除去。
時には、抜歯も必要になります。
口腔内を消毒し、清潔な状態にします

予防方法

要注意!!

ウエットタイプ、半生タイプのフードを与えていませんか？
歯に付着しやすく、歯垢のもとになってしまいます。

こうなる前に



1 ドライフードを与える

歯垢が付きにくいものを選びましょう。

2 デンタルガムを与える

歯垢除去効果のあるものを選びましょう。

たとえば…
ビルバックチュウS
170g 1,680円(税込)

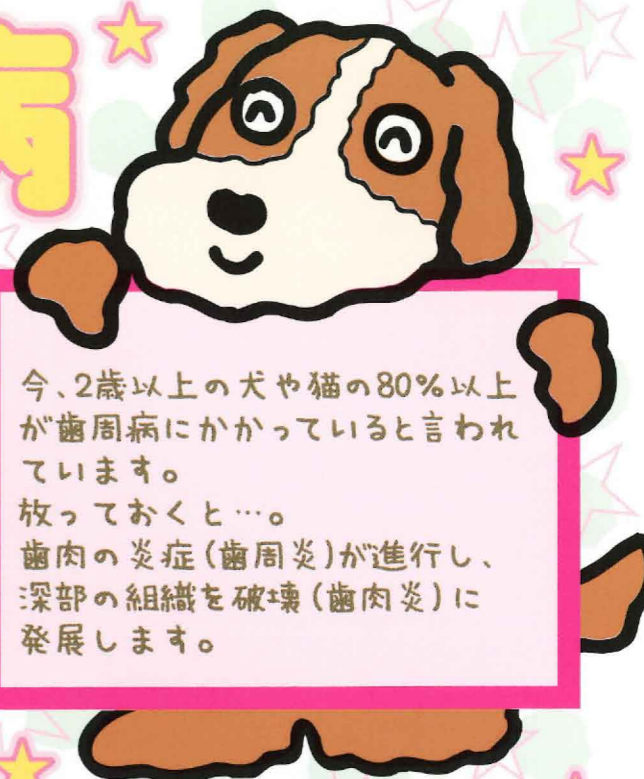


3 最も効果的なのは、歯磨き!!

- 急に歯ブラシは嫌がる子がほとんどです。まずは、口を触られることに慣れさせましょう。
- 徐々に、付着した歯垢を爪で引っかけて除去しましょう。
- ガーゼを指に巻いて、遊びながら歯を磨きましょう。

日頃のケアにより予防が可能です。お口の中も健康に努めましょう。

歯周病



今、2歳以上の犬や猫の80%以上が歯周病にかかっていると言われています。
放っておくと…。
歯肉の炎症(歯周炎)が進行し、
深部の組織を破壊(歯肉炎)に
発展します。

愛犬・愛猫の 口の中は どーなってますか??

口が臭う。
汚れている。
異変に気づいて
ますか??



早期発見、早期治療で進行を防ぎ、
重度にならないように予防しましょう!!

原因

歯垢、歯石に潜む細菌が歯周炎・歯肉炎を進行させます。歯垢がたまり、歯石を作ってしまう。また、歯石が歯垢を付きやすくする悪循環が起こります。



日頃の予防が
大切なんだね。



歯石の沈着がみられます。